

霧が丘地区

霧が丘地区別計画推進委員会

地域 霧が丘1～6丁目

緑区の西方に位置し、地区の南側は旭区に隣接しています。昭和54年から日本住宅公団（現在の霧が丘グリーンタウン）の入居が始まり、昭和56年に十日市場町から区域変更された比較的新しい街です。

街路樹、歩行者専用道路など（通称「赤道」、計画的に整備されていることが特徴的で、緑豊かな公園が点在し、恵まれた自然環境は南側に隣接する新治市民の森に続いています。

平成20年に横浜市初の小学校跡の建物を活用した複合施設「霧の里」が開所し、住民の活動の場として定着してきています。

<主な関連施設>

最寄駅：十日市場駅（JR横浜線）

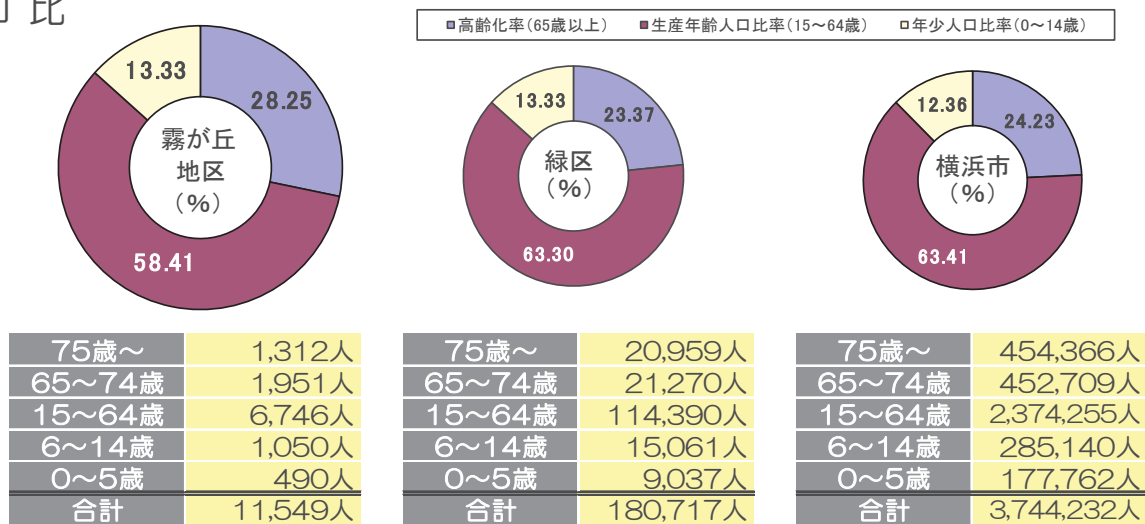
震災時避難場所（地域防災拠点）：霧が丘小学校（旧霧が丘第二小学校）、霧の里（旧霧が丘第三小学校）

地域ケアプラザ等：横浜市霧が丘地域ケアプラザ

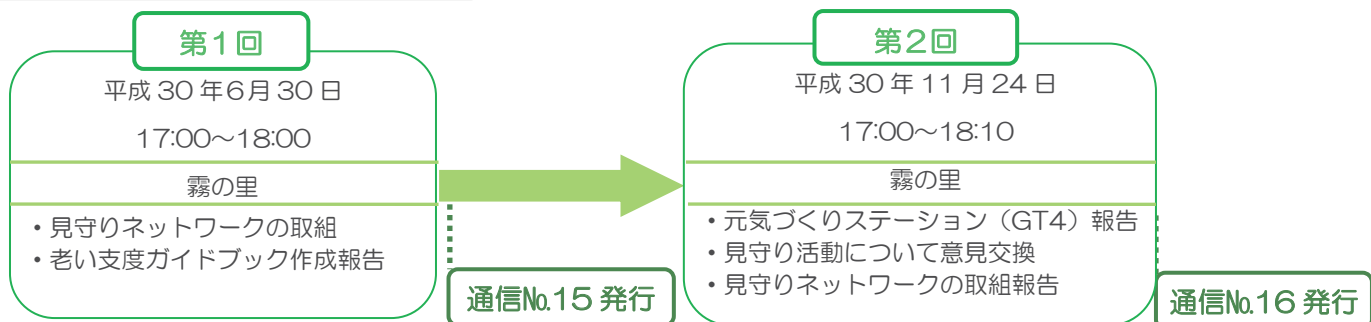
<年齢区分別人口>

平成30年(2018年)9月末

人口比



地区別計画推進委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成30年度地区別計画推進状況



霧が丘地区



誰もが安心して暮らしていくために
～地域で見守り・ささえあい～

活動5年目を迎えた『霧が丘見守りネットワーク』は、「みんなで支え合い・助け合いながら安心して暮らせる街をつくりたい!」と願いながら活動を続けています。見守りだけではなく、防犯パトロールや美化活動も併せて行うこともあります。



(左：見守り確認カード、右：見守り活動の様子)

この活動により、近隣に顔見知りが増えて「まちとも（町友）」の輪が広がったり、歩くことにより健康増進につながります。

元気づくりステーション

地域の中で高齢者の健康づくりを進める自主活動グループである「元気づくりステーション」。6丁目（GT2）と4丁目（GT4）で元気に活動しています。

参加することで身近な地域の中で顔見知りが増え、健康や介護についての相談が気軽にできます。

さらに、活動が広がることで、仲間同士の助け合いから見守りにつながっています。



(写真：GT4 活動の様子)

防犯・防災・教育 **日本一** の街 霧が丘を目指して…

霧が丘地区では、盆踊り大会や大運動会、どんど焼き、防災訓練など、子どもから大人まで参加できる行事や、異文化を学び、国際感覚を身に付けることを目的とした中学生のベトナム・カンボジア派遣などを行い、地域でのつながりを大切にするまちづくりに取り組んでいます。

なお、今年は緑区制50周年を記念して、中学生等をインドに派遣します。

霧が丘地区別計画推進委員会



霧が丘地区別計画推進委員会
平成30年9月発行 第3期—第5号（通算第15号）



霧が丘地区別計画推進委員会通信

平成30年度第1回霧が丘地区別計画推進委員会を開催しました！

平成30年6月30日（土）17時から、「平成30年度第1回みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画推進委員会」を霧の里で開催しました。29年度の取組状況を振り返るとともに、30年度の取組について意見交換を行いました。

委員会での主な意見をご紹介します。



第1回霧が丘地区別計画推進委員会の様子



「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわ・ささえ愛プラン」（第3期計画：平成28年度～32年度）は、誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区域計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、今まで行われてきた取組を継続し、よりよいものに発展させていくため、3つの目標掲げて取組を進めています。

- 【目標1】 「地域でのつながり」を大切にするまちづくり
- 【目標2】 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 【目標3】 「安心・安全・健康」のまちづくり



霧が丘地区別計画推進委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの33人のメンバーで構成されています。「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」（第3期計画）の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。

29年度から、見守り活動を充実させるため、委員会のメンバーが7人増え、33人になりました。委員会では、霧が丘をよりよいまちにしていこうと、活発な意見交換が行われました。

裏面で、委員会での意見交換の内容と関連する取組についてご紹介します。



委員会での意見交換の内容と 関連する取組についてご紹介します

見守りネットワークの取組について

～誰もが安心して暮らしていくために、
地域みんなで支え合い・助けあいの輪を広げたい！～

平成26年から活動している「霧が丘見守りネットワーク」も5年目を迎えました。今後も活動を継続するために、これまでの取組を振り返り、新たな課題等について意見交換を行いました。

見守りネットワーク
だよりでも活動報告



【主な意見等】

- 地区によっては毎日パトロールを実施しています。また、連合パトロールでは高齢者が詐欺被害に遭わないように、年金振込日などに重点的に行っています。
- 見守り活動を実際にやってみると、外部から状況を見ることだけでよいのかな、と思うことがあります。場合によっては、直接お会いしてお話する機会を持つことも必要かな、と思っています。
- 不安になったときに自分たちも地域で見守ってもらえたらうれしいな、と思って始めました。なかなかパトロールの担い手が増えていかない中、個別に声かけ等をしてお願いしたところ、少しずつではあるものの、新たに参加してくれる人が増えてきました。
- 無理のない範囲で若い人ともつながりを深められると自治会活動も広がっていくのでは。



より安心して暮らせる街を願い、パトロール隊の一員として見守り活動に参加してもらえる仲間を増やしたいので、ご理解とご協力をよろしくお願いします！

若い支度ガイドブックについて

霧が丘地域ケアプラザ
ホームページもご覧ください



★霧が丘若い支度ガイドブック

「明日からのライフデザイン」ができました！★ <http://www.kirigaoka-careplaza.com/>

霧が丘地域ケアプラザより発行の報告がありました。

この冊子は年代別に説明しており、それぞれの関心事から読み進められるようにしてあります。

今後、若い支度に関する講座を開催しますので、ぜひ参加してください！

若い支度に関する
講座の参加者向け
に配布予定です



【作成・発行にあたって】

- 事前に行った住民アンケートによると、認知症、介護予防などに関心が高いことがわかりました。
- 地域での支え合いの仕組みがあっても、自分にはまだ必要がないと考えている高齢者もいました。
- 地域の人、ひとりひとりで備えをして、つながりを作っていくきっかけになればいいと思います。

〈連絡先〉霧が丘地区別計画推進委員会事務局 Tel: 930-2307 (緑区高齢・障害支援課)



霧が丘地区別計画推進委員会
平成31年1月発行 第3期—第6号（通算第16号）



霧が丘地区別計画推進委員会通信

平成30年度第2回霧が丘地区別計画推進委員会を開催しました！

▼第2回霧が丘地区別計画推進委員会の様子

平成30年11月24日（土）17時から、「平成30年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画推進委員会」を霧の里で開催しました。

前回の振り返りや、30年度の取組についての報告や意見交換を行いました。委員会での主な意見をご紹介します。



塚田委員長▶



「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」とは

「みどりのわ・ささえ愛プラン」（第3期計画：平成28年度～32年度）は、誰もが安心して暮らし続けられる緑区を目指して策定された、社会福祉法に基づく計画です。本プランは「区域計画」と、区内11地区の実情を踏まえて策定された「地区別計画」から構成されます。「霧が丘地区別計画」では、今まで行われてきた取組を継続し、よりよいものに発展させていくため、3つの目標を掲げて取組を進めています。

- 【目標1】 「地域でのつながり」を大切にすまちづくり
- 【目標2】 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- 【目標3】 「安心・安全・健康」のまちづくり



霧が丘地区別計画推進委員会とは

連合自治会の役員、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの33人のメンバーで構成されています。「みどりのわ・ささえ愛プラン霧が丘地区別計画」（第3期計画）の推進に向け、地域の取組状況の共有や、目標達成のための具体的取組の検討等をおこなっていくための委員会です。

33人の委員会のメンバーが集まり、霧が丘をよりよいまちにしていこうと、それぞれの立場を代表して活発な意見交換が行われました。

裏面で、委員会での意見交換の内容と関連する取組についてご紹介します。



委員会での意見交換の内容と 関連する取組についてご紹介します

元気づくりステーションについて

～「きりともGT4元気づくりステーション」がスタートしました！～

身近な地域で、介護予防・健康づくりに向けて取組むシニアの自主的な活動です。

参加することで、身近な地域の中で顔見知りが増え、健康や介護についての相談が気軽にできます。さらに、活動が広がることで、仲間同士の助け合いで見守りにつながっています。

今回の委員会において、霧が丘地区の現状報告及び今年度の取組について意見交換しましたので、ご紹介します。

【現状及び主な意見等】

- 霧が丘地区の高齢化率は28.3%。
- 霧が丘地区の単独世帯数と高齢者単独世帯数は増加している。また、3世代同居世帯割合は緑区全体で減少している。今後「孤立死」の危険性がある。
- 元気づくりステーション参加者は女性が多く、全体の2/3を占めている。男性の参加者がもっと増えるといい。
- GT4は第2・4水曜日に開催中。参加者は15人程度。講師による脳トレ体操やストレッチ・筋力アップ体操を実施している。昨年度からGT2で始めた元気づくりステーション「きりとも」では、現在毎週火曜日に実施、イベントを企画して参加者が増えている。



◀▼きりともGT4
元気づくりステーション



地域のまちとも同士、楽しく活動しています。みなさんお誘い合わせの上、ご参加ください！！



エンディングノート「Eノート」

霧が丘地域ケアプラザの
ホームページもご覧ください

★E（エンディング）ノートができました！★

霧が丘地域ケアプラザより発行の報告がありました。

今年度4月に発行した「明日からのライフデザイン」

をもとに、自身の思いを書き留めておくため、

霧が丘版エンディングノートを作成しました。

今後さらにLIFE（ライフ）を充実させるための

L（リビング）、I（アイデンティティ）、

F（ファイナンシャル）を発行する予定ですので、ご期待ください！

書き方講座も開催
していますので、
ご参加をお待ちし
ています！



<連絡先>霧が丘地区別計画推進委員会事務局 Tel：930-2307（緑区高齢・障害支援課）